

1月15日

自然再生エネルギーを身近に 北大の濱田准教授による講演会

自然再生可能エネルギー活用 講演を行う濱田准教授



町主催の自然再生可能エネルギー活用講演会が1月15日、公民館で開催されました。

日常生活で身近な再生可能エネルギーについて理解を深めてほしいと開催されたもので、約80人が参加。講師は北海道大学大学院工学研究科の濱田靖弘准教授で「地域熱エネルギーの直接利用と現状の課題」というテーマで講演を行いました。濱田准教授は、町が行う雪氷冷熱事業の解説を行ったほか、自然再生可能エネルギーの展望などについて話し、参加者は興味深げに聴き入っていました。

1月13日

狩猟免許の取得に向けて 狩猟免許制度説明会を開催



スライドを使つての説明に聴き入る参加者

狩猟免許制度説明会が1月13日、公民館で開催されました。

新たに狩猟を始めたい方や狩猟免許を取得したいという方を対象に開催されたもので、10人が参加。釧路総合振興局の担当者による狩猟免許制度や野生動物の被害防止などに関する講義が行われ、参加者は熱心に耳を傾けていました。

12月16日

歌や詩吟で楽しいひととき ケア・サポートまつやまでクリスマス会



歌を披露するバンビーズ・クラブ

高齢者向け住宅ケア・サポートまつやま(川湯温泉1)で12月16日、クリスマス会が行われました。

会では、同施設で働くスタッフの子どもたちが「バンビーズ・クラブ」を結成し、クリスマスソングなどを披露。入居者の皆さんを喜ばせました。

また、網走の詩吟愛好会の皆さんと入居者の皆さんが一緒になって「大きなクブ」の詩吟による寸劇も披露。とても盛り上がり、楽しいひとときを過ごしました。

カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



企画財政課企画係 ☎482-2913(課直通)

1月20日

親子で餅つきに挑戦 エコミュージアムセンターで自然ふれあい行事



息を合わせて餅つき

川湯エコミュージアムセンター主催の自然ふれあい行事「親子で餅つき大会」が1月20日、40人ほどの親子が参加して行われました。

機械は使わず全工程を手作りしようと、餅米もセイロを使って蒸すことになり、子どもたちはまきストーブに火をつけるところから始めました。炊き上がった餅米が臼の中に入ると、子どもたちは代わる代わるきねを振り上げ「よいしょ」という掛け声に合わせて、餅をつきました。わが子に負けじと、お母さん方がきねを手にする姿も。きな粉をつけたお餅は「おいしい」という笑顔とともに、あっという間になくなりました。

1月19・20・26・27日

多彩な催しで観光客をお出迎え SL冬の湿原号が川湯まで延長運行



摩周駅に到着したSL

SL冬の湿原号(釧路～標茶間)が、今年も運行を開始しました。

1月19日、20日、26日、27日には川湯温泉駅まで延長運行され、多くの鉄道ファンなどでにぎわう中、さまざまなイベントが行われました。摩周駅では歓迎セレモニーを行ったほか、摩周湖観光協会の皆さんが地域特産品を販売。車内では、地元ガイドによる「ネイチャー講座」が行われました。また19日には、川湯温泉駅前餅つきや足湯タオルのプレゼントも行われ、乗客を歓迎しました。

12月19日

いじめ根絶！メッセージコンクール 美小の北林君がポスター部門で全道3位



賞状を受け取る北林君を

北海道いじめ・不登校等対策本部などが主催する「いじめ根絶！メッセージコンクール」のポスター部門で、美留和小学校2年の北林聖也君の作品が、全道3位に当たる「北海道青少年有害情報対策実行委員会実行委員賞」を受賞しました。

伝達式は12月18日、同校で行われ、北海道教育庁釧路教育局の相馬哲也教育支援課長から北林君に賞状が手渡されました。

コンクールは、いじめやネットトラブルから青少年を守ることを目的に開催されています。北林君は「あたたかい心」「さむい心」を表現し、やさしい言葉と友達の大切さを伝えるポスターで、今回の受賞となりました。

12月18日

安全運転への意識新たに 弟子屈町交通安全大会を開催



交通安全に寄与した方を表彰

弟子屈町交通安全運動推進協議会・弟子屈町交通安全協会主催の平成24年度弟子屈町交通安全大会が12月18日、公民館で行われました。

大会には自治会関係者など約80人が参加。町交通安全運動推進協議会や全日本交通安全協会などから、交通安全運動を積極的に推進した団体や優良運転者などに対する表彰が行われ、3団体と20人が表彰を受けました。また、弟子屈警察署の三木政敏地域・交通課長による講演「釧路管内における交通事故情勢について」、釧路地区交通安全推進協議会の藤田真輝交通安全推進員による夜光反射材実演会も行われました。

1月22日

自転車旅による観光客誘致を目指し サイクル・ツーリズムセミナーを開催



サイクル・ツーリズムを学ぶ

(社)摩周湖観光協会主催のサイクル・ツーリズムセミナーが1月22日、商工会館で開催されました。

サイクル・ツーリズム(自転車旅)は近年、エコ・ツーリズムとしても注目を集めています。同協会は昨年、北海道サイクル・ツーリズム連絡会に加盟。セミナーは、隣接エリアと連携した積極的な事業展開と、サイクル・ツーリズム、エコ・ツーリズムの振興を目的に開催されました。講師は、元・日本マウンテンバイクガイド協会長のサイクルガイド・丹羽隆志氏(埼玉県「にわ・サイクリングツアーズ」主宰)。町内外から参加した約40人のサイクリング愛好者や観光関係者が熱心に聴き入り、質疑応答も行いました。

1月22日

地域ブランド化推進実行委員会が地産地消に取り組み 学校給食に地元産牛乳で作ったチーズを提供



地元産のおいしいチーズに舌鼓

町と摩周湖農協で組織する弟子屈町地域ブランド化推進実行委員会が1月22日、学校給食に、地元産の牛乳で作った裂けるチーズを提供しました。

同委員会では、地元産の優れた農産物や加工品などを地域ブランド特産品として指定しています。学校給食への食材提供は、特産品を使った給食を通して、児童・生徒と保護者に地元の食材に親しんでもらうこと、地産地消を推進することなどを目的に、2009年から毎年行っています。

子どもたちは「初めて食べた」「おいしい」などと言いながら、チーズを口に運んでいました。

1月1・2日

抽選会や福袋などで新年を祝う 道の駅でお正月イベント



さつまあげの配布には長い行列が

道の駅「摩周温泉」で1月1・2の両日、新年を祝うお正月イベントが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

お正月イベントは、一昨年7月のリニューアルオープン後、初めてのお正月を迎えた昨年に引き続き2回目。両日とも、先着200人に、姉妹都市・鹿児島県日置市のさつまあげと、地場産の牛乳を使ったコーンスープが振る舞われました。また、町内の特産品などが当たる抽選会や、地元の食材などを詰め合わせた福袋の販売なども行われ、来場者はお正月ムードを満喫していました。

12月19日

犯罪の起きやすい年の暮れに注意喚起 関係団体が協力して歳末警戒街頭啓発



犯罪防止を呼び掛ける

町と弟子屈町暴力追放運動推進協議会、弟子屈防犯協会による歳末警戒街頭啓発が12月19日、弟子屈市街地区で行われました。

犯罪の起きやすい年末を迎え、地域の方に注意を呼び掛けるために行われたものです。主催者のほか、弟子屈警察署、弟子屈地区防犯協会連合会、弟子屈地区少年補導員連絡協議会、川湯防犯協会、弟子屈町自主防犯パトロール隊、川湯防犯青色パトロール隊などの皆さんが、市街地区の大型店や金融機関を回り、利用者に啓発品を手渡して注意を呼び掛けました。